



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

名古屋市中区錦一丁目 10 番 20 号
ジャパンベストレスキューシステム株式会社
代表者名 代表取締役 榑原 暢宏
(コード番号：2453 東証・名証 第一部)
問合せ先
執行役員 管理部長 葛川 遼佳
電話番号：052-212-9908

営業外費用及び特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 9 月期において、下記のとおり、営業外費用及び特別損失を計上しますので、お知らせします。

また、平成 26 年 11 月 14 日に公表しました平成 27 年 9 月期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、併せてお知らせします。

1. 営業外費用（貸倒引当金繰入額）の内容

当社の連結子会社である JBR Leasing 株式会社（以下、「JBR Leasing」といいます。）が所有していた複数の車両運搬具（賃貸用）を福島県内で除染事業を営む事業会社に総額 151 百万円（3 年分割払い）で売却しましたが、将来の回収可能性について検討した結果、平成 27 年 9 月期連結決算において、貸倒引当金繰入額 100 百万円を営業外費用として計上する見込みとなりました。なお、JBR Leasing は平成 27 年 10 月 1 日付で当社に吸収合併されております。

2. 特別損失の内容

(1) 固定資産売却損

JBR Leasing が所有していた複数の車両運搬具（賃貸用）を福島県内で除染事業を営む事業会社等に売却したことに伴い、平成 27 年 9 月期連結決算において、固定資産売却損 157 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

(2) 投資有価証券評価損

当社が所有する投資有価証券について評価した結果、平成 27 年 9 月期連結及び個別決算において、簿価に比べて実質価値が著しく下落している株式に係る投資有価証券評価損 121 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

(3) 事業再編損

平成 27 年 8 月 24 日付「子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社の連結子会社であった株式会社バイノスの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外した結果、平成 27 年 9 月期連結決算において、事業再編損 110 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

3. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 9 月期連結業績予想の修正（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,509	百万円 521	百万円 528	百万円 201	円 銭 5.87
今回修正予想 (B)	12,117	597	558	△176	△5.12
増減額 (B - A)	607	76	29	△377	△10.99
増減率 (%)	5.3	14.6	5.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 9 月期)	11,621	329	278	31	0.94

(2) 業績予想の修正理由

売上高につきましては、会員事業及び少額短期保険事業において、会員数又は契約件数を順調に伸張しており、会員事業の売上高は 4,582 百万円（平成 26 年 11 月 14 日付「平成 26 年 9 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」でお知らせしました平成 27 年 9 月期連結業績予想又はその策定にあたって見込んでいた各セグメントの業績予想との差額（以下、「差額」といいます。）517 百万円増）、少額短期保険事業の売上高は 2,528 百万円（差額 294 百万円増）となりました。

また、営業利益につきましては、コールセンター事業及び企業提携事業において、主力サービスのカギ部門、害虫部門及び水の救急車事業が好調に推移したことに加えて、広告宣伝費を圧縮したことにより、コールセンター事業の営業利益は 176 百万円（差額 61 百万円増）、企業提携事業の営業利益は 333 百万円（差額 73 百万円増）となりました。

これらの好調要因に支えられ、売上高は 12,117 百万円（差額 607 百万円増）、営業利益は 597 百万円（差額 76 百万円増）、経常利益は 558 百万円（差額 29 百万円増）となりましたが、上記 2 記載のとおり、特別損失を計上する見込みとなったことを踏まえ、連結業績予想を修正しました。

以 上